

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	2	学年	1 年
教科書（出版社）	新編現代の国語（東京書籍）						
副教材（出版社）	プレミアムカラー国語便覧（数研出版）						

科目の目標（育成したい資質・能力）

	A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
目標	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを深める。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わる。
評価方法の例	・単元テスト ・定期考査 ・小テスト ・口頭試問 など	・定期考査 ・レポートの記述 ・探究活動の内容 ・学習状況の観察 など	・学習等の観察 ・課題等の記述 ・自己評価 など

上に示す観点に基づいて、学期ごとに評価し、学年末に5段階の評定に換算します。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

実施予定時期	単元名	学習内容
1 学期	ルリボシカミキリの青 気になるニュースについて話そう 未来をつくる想像力 常用漢字の学習(校内検定の復習) 水の東西	
2 学期	無彩の色 鍋洗いの日々 森で染める人 憧れの職業について調べ、整理してまとめよう 常用漢字の学習（校内検定の復習） 手紙の書き方	
3 学期	りんごのほっぺ 真の自立とは 自分の選んだ本の紹介文を書こう	

学習方法	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を養うことを目的とします。「働くこと」「自然科学」など、多様なテーマの教材を取り上げます。ただ授業を聞くだけでなく、自分なりの意見や考えを持って主体的に学習に取り組みましょう。
ICT活用	ドキュメント（レポート・ワークシート）、スライド（発表資料・まとめ）、スプレッドシート（データ整理）、ジャムボード（意見集約・まとめ）、Forms（小テスト・振り返り・アンケート）

教科	国語	科目	言語文化	単位数	2	学年	1 年
教科書（出版社）	新編言語文化（数研出版）						
副教材（出版社）	プレミアムカラー国語便覧（数研出版） 新総合演習Ⅰ（尚文出版）						

科目の目標（育成したい資質・能力）

	A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
目標	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを深める。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使う。
評価方法の例	・単元テスト ・定期考査 ・小テスト ・口頭試問 など	・定期考査 ・レポートの記述 ・探究活動の内容 ・学習状況の観察 など	・学習等の観察 ・課題等の記述 ・自己評価 など

上に示す観点に基づいて、学期ごとに評価し、学年末に5段階の評定に換算します。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

実施予定時期	単元名	学習内容
1 学期	地域の「ことば」「とんかつ」 古文に親しもう「いろは歌と有名作品の冒頭部分」歴史的仮名遣い・用言の活用 日本語の中に生きる漢文「訓読の決まり」「格言」 詩歌を味わう「短歌・俳句」	
2 学期	現代にも生きる教え「徒然草」高名の木登り 故事と成語「漁夫の利」 受け継がれる古典「羅生門」 昔と変わらない人の心「伊勢物語」芥川	
3 学期	漢詩を味わう「中国の漢詩」 語感を磨く「側転と三夏」 論語のことば「論語」	

学習方法	上代から近現代までの我が国の言語文化について学びます。言葉や文化が千年以上途切れずに現代に生きる私たちに届いているのを知ること、当時の人々が見たり考えたり感じたりしたことを当時の言葉を通じて知り、その共通点に気づくことを意識しながら学習します。
ICT活用	ドキュメント（レポート・ワークシート）、スライド（発表資料・まとめ）、スプレッドシート（データ整理）、ジャムボード（意見集約・まとめ）、Forms（小テスト・振り返り・アンケート）

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	2	学年	1 年
教科書（出版社）	高等学校 新地理総合（帝国書院）						
副教材（出版社）	高等学校 新地理総合ノート（帝国書院）、標準高等地図（帝国書院）						

科目の目標（育成したい資質・能力）

	A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
目標	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。 地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する。 地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することを意識する。
評価方法の例	・単元テスト ・定期考査 ・復習プリント など	・単元テスト ・定期考査 ・レポート課題 ・授業内での発表 など	・レポート課題 ・課題などの記述 ・ノートの提出 など

上に示す観点に基づいて、学期ごとに評価し、学年末に5段階の評定に換算します。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

実施予定時期	単元名	学習内容
1 学期	第1部 地図でとらえる現代社会	1章 地図と地理情報システム 1節 地球上の位置と時差 2節 地図の役割と種類 2章 結び付きを深める現代社会 1節 現代国家と領域 2節 グローバル化する世界
2 学期	第2部 国際理解と国際協力	1章 生活文化の多様性と国際理解 序説 生活文化の多様性 1節 世界の地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活 3節 世界の言語と宗教と人々の生活
3 学期	第2部 国際理解と国際協力	1章 生活文化の多様性と国際理解 4節 歴史的背景と人々の生活 5節 世界の産業と人々の生活

学習方法	地理総合では、地理情報システム（GIS）や地形図、ハザードマップなど、私たちの生活のなかで関わりの深いものについて触れる機会が多々あります。暗記や記述も多いですが、私たちの生活の中で、上記のものたちがどのような役割を果たしているのかを見極めていきましょう。
ICT活用	Google（資料等検索）、ドキュメント（レポート）、スライド（発表資料）、スプレッドシート（データ整理）、ジャムボード（意見集約）、Forms（単元テスト・振り返り・アンケート）、t地理情報システム（GIS）、地域経済分析システム（RESAS）など☑

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	3	学年	1年
教科書(出版社)	最新 数学Ⅰ(数研出版)						
副教材(出版社)	REPEAT 数学Ⅰ+A(数研出版)						

科目の目標(育成したい資質・能力)

	A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
目標	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力や関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の家庭を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価方法の例	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・定期考査 ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト ・小テスト ・定期考査 ・レポートの記述 ・探究活動の内容 ・学習状況の観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況の観察 ・課題、ノート等の記述 ・自己評価 ・振り返り ・発表

上に示す観点に基づいて、学期ごとに評価し、学年末に5段階の評定に換算します。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

実施予定時期	単元名	学習内容
1学期	第1章 数と式 第2章 集合と命題	多項式の加法・減法・乗法、展開の公式 因数分解、実数、根号を含む式の計算 不等式、連立不等式、不等式の利用 集合、命題と集合、命題の証明
2学期	第3章 2次関数 第4章 図形と計量	2次関数とグラフ、2次方程式と2次不等式 三角比、正弦定理・余弦定理
3学期	第5章 データの分析	データの整理、代表値、散らばり、相関

学習方法	数学は、毎日コツコツと取り組むことが大切な教科です。苦手意識を持っている人も多いと思いますが、毎日取り組むことで、苦手を克服できます。まずは、たくさんの問題に触れることから始めて下さい。
ICT活用	スタディエイドビューア(課題配信)、ドキュメント(レポート)、スライド(発表資料・まとめ)スプレッドシート(データ整理)、ジャムボード(意見集約・まとめ)、Forms(小テスト・振り返り・アンケート)

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	2	学年	1 年
教科書（出版社）	科学と人間生活(東京書籍)						
副教材（出版社）	ニューサポート科学と人間生活						

科目の目標（育成したい資質・能力）

	A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
目標	自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を身に付ける。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。
評価方法の例	・単元テスト ・定期考査 ・実験、観察での活動状況 など	・単元テスト ・定期考査 ・ペアワーク、グループワークの活動状況 ・実験、観察での活動状況 など	・課題レポートへの取組状況 ・振り返りレポート ・自己評価とその後の学習の調整状況 など

上に示す観点に基づいて、学期ごとに評価し、学年末に5段階の評定に換算します。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

実施予定時期	単元名	学習内容
1 学期	1 編 1 章 1 編 2 章 2 編 1 章	微生物とその利用 ヒトの生命現象 材料とその再利用
2 学期	2 編 2 章 3 編 1 章 3 編 2 章	衣料と食品 光の性質とその利用 熱の性質とその利用
3 学期	4 編 1 章 4 編 2 章	太陽と地球 自然景観と自然災害

学習方法	<p>現在、環境問題やエネルギー問題といった地球規模での課題が増す中、人間が自然と調和しながら持続可能な社会を構築することが強く求められています。その一端を担うため、身の回りの事物・現象から地球規模の環境までを視野に入れて、科学的な根拠に基づいて多面的に捉え、総合的に判断できる力を身に付けていきましょう。科学の原理や法則が科学技術として日常生活や社会の中でどのように利用され、結び付いているかを学ぶことで、科学を学ぶ意義や有用性を実感し、高校生活だけでなく、生涯にわたって科学に興味・関心をもち続けて欲しいと思います。</p> <p>頑張ってもらいたいこと</p> <p>①学習ファイルの管理 ②単元テストへの対策 ③学習の振り返り・調整 ④定期考査 ⑤ペアワーク、グループワークでの積極的な意見交換</p>
ICT活用	ドキュメント(レポート)、スプレッドシート(実験データ整理)、ジャムボード(意見交換)、Forms(振り返り、アンケート)

教科	保健体育	科目	体育	単位数	3	学年	1 年
教科書（出版社）	現代高等保健体育改訂版（大修館書店）						
副教材（出版社）	現代高等保健体育ノート改訂版 ・ アクティブスポーツ【総合版】（大修館書店）						

科目の目標（育成したい資質・能力）

	A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
目標	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解させる。また、運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けさせる。	豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫させる。また、個人及び社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考えさせ、判断させ、それらを表現させる。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組ませる。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について関心をもたせ、意欲的に学習に取り組ませる。
評価方法の例	・ 定期考査 ・ 学習状況の観察及び記録	・ 学習状況の観察及び記録 ・ ワークシートの記述 ・ 定期考査	・ 学習状況の観察及び記録 ・ ワークシートの記述 ・ 定期考査

上に示す観点に基づいて、学期ごとに評価し、学年末に5段階の評定に換算します。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

実施予定時期	単元名	学習内容
1 学期	体づくり運動 球技 ダンス 体育理論	体ほぐしの運動、実生活に生かす運動の計画 ゴール型、ネット型、ベースボール型から選択 創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスから選択 1 「スポーツの始まりと変遷」 2 「文化としてのスポーツ」
2 学期	球技 ダンス 陸上競技 体育理論	ゴール型、ネット型、ベースボール型から選択 創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスから選択 長距離走 3 「オリンピックとパラリンピックの意義」 4 「スポーツが経済に及ぼす効果」
3 学期	球技 体育理論	ゴール型、ネット型、ベースボール型から選択 5 「スポーツの高潔さとドーピング」 6 「スポーツ環境」

学習方法	健康の保持増進などのために行われる運動や一定のルールや文化性をもつスポーツは、体を動かすという人間の本源的な欲求にこたえとともに、爽快感、達成感、他者との連帯感等の精神的充足や楽しさ、喜びをもたらす、さらには、体力の向上や精神的なストレスの発散、生活習慣病の予防など、心身の両面にわたる健康の保持増進に資するものです。これらのことを理解して学習活動に主体的に取り組んでください。
ICT活用	①電子黒板及びスクリーンの動画視聴 ②タブレットカメラ及びビデオ機能（振り返り・資料） ③スプレッドシート（データ整理） ④Forms（振り返り・アンケート）

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1	学年	1 年
教科書（出版社）	現代高等保健体育改訂版（大修館書店）						
副教材（出版社）	現代高等保健体育ノート改訂版（大修館書店）						

科目の目標（育成したい資質・能力）

	A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
目標	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解させる。また、運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けさせる。	豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫させる。また、個人及び社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考えさせ、判断させ、それらを表現させる。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組ませる。また、個人生活及び社会生活における健康・安全について関心をもたせ、意欲的に学習に取り組ませる。
評価方法の例	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ノートの記述 ・ワークシートの記述 ・探究活動の内容 ・学習状況の観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートの記述 ・ワークシートの記述 ・学習状況の観察

上に示す観点に基づいて、学期ごとに評価し、学年末に5段階の評定に換算します。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

実施予定時期	単元名	学習内容
1 学期	現代社会と健康	1 「健康の考え方と成り立ち」 ～ 1 1 「薬物乱用と健康」
2 学期		1 2 「精神疾患の特徴」 ～ 1 9 「健康に関する環境づくり」
3 学期	安全な社会生活	1 「事故の現状と発生要因」 ～ 6 「心肺蘇生法」

学習方法	保健は非常に魅力的な特性を備えています。その1つは、「健康・安全」がすべての人にとって、自己実現するプロセスを根底から支えているという事実です。「健康・安全」について、あらゆる角度から探求していきましょう。
ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> ①スライド（資料・まとめ） ②スプレッドシート（データ整理） ③Forms（小テスト・振り返り・アンケート）

教科	英語	科目	英語コミュニケーションⅠ	単位数	4	学年	1 年
教科書（出版社）	VISTA English CommunicationⅠ（三省堂）						
副教材（出版社）	英語マスターノート（増進堂）						

科目の目標（育成したい資質・能力）

	A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
目標	外国語の音声や語彙、表現、文法、限後の働きなどの知識を書くこと、聞くことを実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況な等に応じて適切に活用できる技能を身につける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを適切に表現したり伝え合うことができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図れる。
評価方法の例	・単元テスト ・定期考査 ・小テスト ・口頭試問 など	・単元テスト ・定期考査 ・小テスト ・口頭試問 など	・学習状況の観察 ・課題等の記述 ・自己評価 など

上に示す観点に基づいて、学期ごとに評価し、学年末に5段階の評定に換算します。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

実施予定時期	単元名	学習内容
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ Get Ready 1～4 ・ Lesson 1 Colors of Spring ・ Lesson 2 Dick Bruna ・ Lesson 3 Interesting Sports 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書の使い方・基礎の復習 ・ 春の色って、何色？・be動詞・一般動詞の現在形 ・ ミッフィーの作者・be動詞・一般動詞の過去形 ・ ちょっと変わったスポーツ・現在・過去進行形
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ Lesson 4 Pictograms ・ Lesson 5 We Are Part of Nature ・ Lesson 6 Machu Picchu ・ Lesson 8 Is There a Santa Clause? 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ピクトグラムの役割・助動詞・動名詞 ・ 動物写真家・岩合光昭・不定詞 ・ 世界遺産「マチュ・ピチュ」・現在完了形 ・ サンタクロースについて・関係代名詞
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ Lesson 7 Artificial Intelligence ・ Lesson 9 Kids' Guernica ・ Lesson 10 Ethical Fashion 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人とAIの共存・受け身 ・ 「ゲルニカ」の平和への祈り・分詞・関係副詞 ・ エシカルについて・比較

学習方法	授業中は英語を「使う」ことを意識して学習しましょう。また、教科書で取り上げられた題材についての知識を幅広く収集し、様々なところに興味関心を持って学習を行ってください。授業以外でも、ICTを活用して英語に触れる時間を積極的に作りましょう。
ICT活用	ドキュメント（レポート・ワークシート）、スライド（発表資料・まとめ）、スプレッドシート（データ整理）、ジャムボード（意見集約・まとめ・宿題）、サイト（背景知識の収集）、Forms（小テスト・振り返り・アンケート）

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	2	学年	1年
教科書（出版社）	高等学校 情報Ⅰ（数研出版）						
副教材（出版社）	なし						

科目の目標（育成したい資質・能力）

	A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
目標	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解しており、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱う。	情報や情報社会における身の回りの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現する能力を養う。	情報や情報社会に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応する態度を養う。
評価方法の例	・単元テスト ・定期考査 など	・定期考査 ・探究活動の内容 ・学習状況の観察 など	・学習状況の観察 ・課題等の記述 ・自己評価 ・定期テストに向けた勉強の振り返り など

上に示す観点に基づいて、学期ごとに評価し、学年末に5段階の評定に換算します。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

実施予定時期	単元名	学習内容
1学期	第1編 情報社会の問題解決 第2編 コミュニケーションと情報デザイン	第1編 第1章 情報メディア 第2章 情報社会における方とセキュリティ 第3章 情報技術が社会に及ぼす影響 第2編 第1章 情報のデジタル表現 第2章 コミュニケーション手段の発展と特徴 第3章 情報デザイン 第4章 プレゼンテーション
2学期	第3編 コンピュータとプログラミング	第1章 コンピュータのしくみ 第2章 プログラミング 第3章 モデル化とシミュレーション
3学期	第4編 情報通信ネットワークとデータ活用	第1章 ネットワークのしくみ 第2章 データベース 第3章 データの分析

学習方法	これからの時代は、世の中に溢れかえっているたくさんの情報の中から、正しい情報を上手に活用する能力を身につけていかないとはいけません。また、情報化の良い点だけでなく、悪い点も理解した上で、情報を適切に取り扱っていくことを心がけていきましょう！
ICT活用	ドキュメント（レポート）、スライド（発表資料・まとめ）、スプレッドシート（データ整理）、ジャムボード（意見集約・まとめ）、Google Colaboratory（プログラミング実行）、Forms（小テスト・振り返り・アンケート）

教科	総合的な探究の時間	科目	南郷学	単位数	2	学年	1 年
教科書（出版社）	一生使える探究のコツ入門編（トモノカイ）						
副教材（出版社）	なし						

科目の目標（育成したい資質・能力）

	A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
目標	地域行政の組織を理解し地域活性化のための課題を発見し解決するための力を身につける。	情報の選択や科学的な視点に基づいてデータを分析する力を身につける。	グループ活動を通して協働的に取り組むとともに、他人の意見の理解・尊重と自らの意見を合意形成しようとする態度を身につける。
評価方法の例	ワークノート レポート提出	プレゼンテーション 面談	ワークノート提出 レポート提出 プレゼンテーション

上に示す観点に基づいて、学期ごとに評価し、学年末に5段階の評定に換算します。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

実施予定時期	単元名	学習内容
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・高森町を知る ・探究方法について学ぶ ・発表する 	<ul style="list-style-type: none"> ・高森町役場職員や阿蘇ユネスコジオパーク委員会からの講話 ・テーマ設定や調査方法を学ぶ ・探究したことをまとめ発表する
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や社会が抱える課題を理解する ・新聞記事やインターネットの活用 ・探究活動の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部機関との連携をとおして、高森町の現状を知り課題を把握する ・情報活用方法を学ぶ ・グループ別探究活動をとおして、課題解決を図る
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・探究活動の実践 ・活動報告書の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ別探究活動をとおして、課題解決を図る ・活動を振り返り、新たな課題を発見する

学習方法	地域貢献活動を通して、国際人として課題を解決していくのに必要な知識やスキル、コミュニケーション能力を身に付ける。
ICT活用	パソコン、タブレット、プロジェクター、ビデオカメラ